すなご

令和8年10月31日発行

法人理念

人が人として人とともに豊かに生きる

基本方針

1. わたくし達は人との出会いを大切にします
2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます

社会福祉法人 甲山福祉センター　西宮すなご医療福祉センター
〒663-8131　兵庫県西宮市武庫川町２番９号　TEL：0798(47)4477　FAX：0798(43)1022
HP：https://www.sunago.or.jp　E-mail：mail@sunago.or.jp



児童発達支援

さくらんぼ

南條　真弘

さくらんぼ同窓会

１年ぶりの再会の機会として、８月12日（水）に児童発達支援さくらんぼの同窓会を開催しました。2025年春に卒園された３組が対象で、みなさん親子で参加。とても楽しい時間を過ごしました。

まずはそれぞれの近況報告。地域の学校や特別支援学校へ元気に通学している様子、また入院したけど同窓会までに頑張って退院した、などのエピソードが報告され、あらためて「みんな元気に学校に行って、先生やお友達と楽しく過ごしているんだなぁ」と感じました。

次は縁日遊び。水に浮かぶスーパーボールやヨーヨーを頑張ってすくったり、かき氷の冷たさを手や顔で感じたり．．．。スイカ割りは、何度割っても復活する「魔法のスイカ」で楽しみました。

最後は２チームに分かれてモルックで対戦。モルックとは棒を使って得点を競うニュースポーツです。ほとんどの方が初めての体験でしたが、ルールもすぐに理解し白熱した試合に。特に、お父さんお母さんが子ども達以上に盛り上がり楽しんでおられました。

あっという間に時間は過ぎ解散の時間を迎えましたが、みんなのお話は尽きること無く続くのでした．．．。
来年も開催するので楽しみに待っててね！！

2階病棟

帯刀　佳代

2階病棟では、利用者の好みに合わせたグループ活動を行っています。

「聴く」「観る」「リラクゼーション」「感覚」「おしゃれ」「ゲーム」をテーマにしたもので1グループ3～4人のグループです。

9月26日の活動は、ネイルシートでネイルと、ヘアトリートメントでヘアアレンジ。「車椅子に乗りましょうか？」の声掛けに、期待から笑顔があふれる利用者もいました。何枚か用意したネイルシートを見てどのネイルシートが良いかを決定。貼りたいネイルで笑顔になったり、ネイルシートを追視したりするなど、選び方はそれぞれでした。そして、いざネイルシール貼り。シールを見ながら「かわいい！」「素敵！」の声掛けにニコニコ笑顔が止まらない様子でした。

ヘアアレンジでは、良い香りのオイルで表情が和らぎリラックスしていました。ヘアセットして、またまた「かわいい！」「きれい！」の声掛けで、利用者のみなさんの口角が上がり笑顔に♪おしゃれを満喫したグループ活動でした！！






3階病棟

小西　香子

3階病棟の院外活動は、好きなこと・やりたいことなど利用者の好みに合わせてグループを組んでいます。

今回のテーマは「音楽」でした！

音楽には「聴く」「奏でる」などいろいろありますが、今回は体験型である「ジブリ展」に行くことにしました。ジブリ展のテーマは「みて、さわって、まわって　来てみなきゃ、わからない」です。誰もが知っているジブリのキャラクターがいたり、実際に触れたり回したりすることで音や仕掛けが出てきて、利用者のみなさんの笑顔や驚いた顔、不思議そうにしている顔を見ることができました。

一日を通して、病棟とは違う表情を見ることが出来て、楽しい院外になりました。






4階病棟

原　孝子

暑さも和らぎだした日曜日、今日は気持ち良く過ごせそうな気候なので、「みんなでパラバルーンとシャボン玉を持って中庭へ行こう！」と病棟から飛び出しました。外は秋らしい風が吹き、シャボン玉はあっという間に西宮すなご医療福祉センターの一番上まで飛んでいきます。それを見上げている利用者や、なかなかうまくシャボン玉が飛ばせない職員をみんなが笑顔で見守っていました。たくさんの利用者が中庭に降りてきて大集合すると、保護者にも協力してもらいパラバルーンを楽しみました。たくさんの利用者で輪を作り、職員の「せーの！上げて～！」の合図でパラバルーンを一斉に上げます。輪の中では高く上がったパラバルーンを見上げて手を伸ばす利用者や、一緒に持ってくれようとする利用者など楽しみ方はさまざま！カラフルなパラバルーンに視線を向けていました。シャボン玉とパラバルーンを楽しんだ後は、中庭でおやつを食べて本日の活動は終了。

これからも、季節の移り変わりを感じながら、笑顔あふれる毎日を送りたいですね。





西病棟

藤井　由加理

今年度から西病棟に配属になり、初めての院内活動が８月１０日にありました。真夏の暑い日だったので、涼しい屋内でリラクゼーションを楽しむ１日にしました！

午前中は、スヌーズレン室でオルゴールの音色に癒されながら手や足のマッサージをしました。ウォーターベッドに横になると、独特の浮遊感が心地よかったのか笑っておられる利用者もいました。午後は、ひんやりクール系の入浴剤を使用して入浴を行いました。事前に入浴剤の香りを確認してもらった時は、ミントの香りにびっくりした表情をされている方もおられましたが、入ってみるとお湯なのにスーッとする不思議な感覚に微笑む利用者もおられました。入浴の後はお待ちかねのおやつタイム！甘いもの大好きな方々だったので、いつもと違う雰囲気のおやつもパクパクとおいしそうに完食されていました！

一日を通して、普段とは違う表情を見ることが出来て、楽しい院内活動になりました。









2026年度 療育祭 SUNAGO GAMESHOW 2026～SGS2026～

療育祭実行委員長　2階病棟　佐藤　愛紗

療育祭を終えて

2024年10月に京都に「ニンテンドーミュージアム」がオープンされたこと、2026年はUSJが25周年を迎え、さまざまなメディアで取り上げられていることから、関西でゲームが盛り上がりつつあると思い、今年のテーマを「ゲーム」に決定しました。また、今年のタイトルの「SUNAGO GAMESHOW 2026～SGS2026～」は実際にある「TOKYO GAMESHOW 2026」という日本最大級のゲームの展示会のタイトルから決定しました。タイトル決定後は各病棟や部署で、内容が被らないようにゲームを決定していきました。よく知っているゲームから、あまり身近に感じたことのないゲームの内容まで、ゲームの幅がさまざまだったと思います。皆さんがゲーム、療育祭を楽しんでいただけていたら嬉しいです。



療育祭当日の西宮すなご医療福祉センターはとても賑やかで、利用者や保護者の皆様、ゲストのメロフロート様、職員の笑顔を見ることができ、とても幸せな空間と盛り上がりを感じました。また、心配していた天気も午後からは日差しが出て、フィナーレを中庭で実施することができました。関わってくださった全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。皆様ありがとうございました。

最後に、フィナーレでは「悪のすなごーん」をみんなで倒せてよかったです。これからも平和な西宮すなご医療福祉センターで、一緒に楽しく過ごしましょう。



＜2階病棟＞

福持　祐子

2階病棟のテーマは「ドラゴンクエスト」でした。エレベーターを降りれば、ゲームのオープニングから始まります。プロローグを読んで、自分で武器を選んで冒険の出発です！

病棟内はたくさんのモンスターで溢れていて、3カ所でゲームをして戦います。ゲームでモンスターを倒すとレベルアップし、最後は魔王を倒しに行きます。倒すと宝をゲット！手や指を使ってタイミングよくボールを離してモンスターに当てたり、水鉄砲で大量のスライムをやっつけたり、背の高い大きな魔王に立ち向かい戦う姿はとても勇ましかったです。また他病棟の利用者も冒険に参加され、たくさんの勇者が楽しく戦ってくれました。







＜3階病棟＞　　永山　実希

今年度の療育祭のテーマは「ゲーム」！！3階病棟では、スポッチャみたいなスポーツゲームがいいのでは、ということで「ストラックアウト」を行いました。ボールを投げたり、蹴ったり、叩いたりとみなさん思い思いに的を狙っていました。なかには狙いがずれて職員に当てちゃう方もいましたが、一生懸命チャレンジされており、他病棟からもたくさん遊びに来ていただき盛り上がりました。

また、フォトスポットでは「ROUND1」をモチーフに「ROUND3」と書いたパネルやバスケットゴールのパネルを設置しました。パネルをバックにキャラクターのうちわなどを持って撮影を楽しまれ、たくさんの素敵な笑顔で溢れていました。

フィナーレでは雨も上がりベランダから観覧することができ、みなさん楽器を持ってメロフロートyu−kiさんの音楽や歌に合わせて盛り上がりました。

さまざまなゲームを行い、交流もたくさんでき楽しい一日を過ごすことができました。







＜4階病棟＞　　玉﨑 千世

４階病棟では、テーマが「ゲーム」ということもあり【スーパーマリオ＆ポケットモンスターの世界観】となりました。病棟に入ると廊下はレインボーロードになっており、各居室には海のなかや地上、見たことがある緑色の土管があり、周りにはたくさんのキャラクターがいました。先に進むとクッパ城が待ちわびており、ボーリングで敵を倒し、さらに奥に入ると、次はポケットモンスターの世界へ。初代から最近までのキャラクターが廊下にずらりと並び、一番奥に設置されている射的でポケモンをゲットしました。

そして昼食の配膳には隠れポケモンが！！一人ひとり「何が入っていた？」と声を掛け合いながら楽しんで食べられていました。

最後のフィナーレは運良く晴れ間が広がり、利用者のみなさんはベランダから手拍子や楽器を持って歌を楽しまれていました。







＜西病棟＞

高山　直子







今年の療育祭のテーマはSUNAGO　GAMESHOW 2026～SGS2026～で、ゲームの世界を楽しむイベントや出し物が催されました。各病棟ではいろいろなゲームの世界観を演出しており、利用者やご家族の方々も楽しそうに各ブースを回って景品を手にしていました。

療育祭に向けてゲームの世界観を出すために、職員同士で病棟の装飾や出し物について何日も話し合いアイデアを出し合って準備を行い、当日は慌ただしくも楽しみながら取り組むことができました。

私が配属している西病棟では、シューティングゲームや射的、太鼓の達人、もぐらたたきやプリクラコーナーが設置され、他病棟からも利用者やご家族がたくさん遊びに来られ大盛況でした。

当日は各病棟での出し物の他に、新人職員や療育部がゲームのキャラクターに扮して仮装し各病棟を練り歩くイベントがあり、フィナーレでは利用者の皆様と職員で力を合わせて巨大風船で悪役を倒す劇や、ゲストのメロフロートyu-kiさんのライブで盛り上がりました。

最後は利用者とご家族、そして職員全員で一斉にクラッカーを鳴らして療育祭の幕を閉じました。

今年も無事に療育祭を終えることができ、楽しい一日となりました。

＜通所支援室つばさ＞

野々上　曜靖

今年度の療育祭のテーマは「ゲーム」ということで、つばさでは「シューティングゲーム」と「大人のワニワニパニック」を制作して利用者に楽しんでもらいました。

「シューティングゲーム」では、狙いを定めて引き金を思い切り引っ張って球を飛ばし、大きな音と共に的が倒れ落ちると大喜びされていました。「大人のワニワニパニック」では、ワニ以外の動物を叩くと減点になったり、宝箱は最後に開いてみないと点数が分からなかったりと悩ましくなる場面もありましたが、皆さん一生懸命ハンマーで獲物を叩いて楽しまれていました。その他、ポケモンの世界観を再現したランチプレートにときめいたり、新人職員の出し物ではマリオやピーチ姫に変身したり、ポケモントレーナーとポケモン御一行様とジャンケンバトルをしたりと、イベント盛りだくさんでお腹いっぱい！！午後からはリハビリテーション室のスマートボールで高得点を狙い、魚釣りでは大漁を狙って、各々夢中になって楽しまれていました。

フィナーレではメロフロートさんのええ声に、「にこにこ笑顔」大満足の一日でした。







＜リハビリテーション室＞

井上　ゆかり

昔ながらのゲーム屋台で盛り上がりました

今年の療育祭のテーマは「ゲーム」！

利用者の皆さんが楽しめるゲームを、ということでリハビリテーション室では、まるで昔ながらのお祭りの縁日に来たかのような、わくわく感あふれるゲーム屋台の雰囲気を目指しました。

会場に用意されたのは、どこか懐かしい「スマートボール」と「魚釣りゲーム」です。開場とともにたくさんの利用者に来場いただき、にぎやかに各ゲームに挑戦していただきました。

皆さん真剣な表情で竿を握り大物を狙う姿や、ボールを上手に投げて高得点をゲットする姿があちこちで見られました。見事、成功した瞬間には会場全体から拍手と歓声が上がり、笑顔のあふれる時間となりました。







＜新任職員の出し物＞

3階病棟　岡田　萌々

10月24日に療育祭が開催されました。毎年恒例の新人職員出し物は、今年は「ゲーム」というテーマに沿って「マリオキャラクターの病棟訪問！」を企画しました。クッパやドンキーコング、ピーチ姫やテレサといったキャラクターから、キノコ、バナナなどのアイテムも出現！メインのマリオ、ルイージの帽子は利用者の方々に被ってもらい、たくさんの写真を撮り、皆さん笑顔や驚いた表情で見ていました。また、普段関わりのない病棟の職員が来たので、人見知りして照れている方やニコニコ見渡している方、声を出して笑ってくれる方もおられ、ご家族も仮装した利用者の方々を見て喜んでおられ、いろいろな反応が見られて職員も元気をもらいました。

まだ入職して間もないですが、利用者の皆様の笑顔のおかげでやりがいある日々を送らせてもらっています。



〝善意〟令和8年7月～10月

寄　付　金　（順不同 敬称略）

7月　金久　雅俊

寄贈品（日用品・食品他）（順不同 敬称略）

7月　藤沢　豊子



利用者様の作品紹介

西病棟

安本　智恵子

神戸女子短期大学の保育実習生と一緒に、西３階病棟の利用者で秋の制作を行ないました。

筆で描いたり、スタンプやお花紙を握ったりと、各利用者のできることを組み合わせて秋の作品が出来上がりました。

完成した作品を観ながら、作った場所はどこですか?と会話を楽しみました。









編集後記

朝夕の涼風に秋の深まりを感じる季節が訪れました。今号では、先日大盛況のうちに幕を閉じた年に一度の療育祭の様子をはじめ、皆様の笑顔があふれる紙面となります。心地よい秋晴れのもと、一息つきながらぜひご一読いただけますと嬉しく思います。

相談支援課　種橋　礼子

